

Products

ロート製薬がインテックの「EDIアウトソーシングサービス(EINS/EDI-Hub Nex)」を採用

ロート製薬は、自社で構築したEDIシステムについて、そのインフラを担ってきたINSネット(デジタル通信モード)サービスの終了に伴うEDI2024年問題^{*1}に対応するため、外部サービスへの乗り換えを検討していました。

また、昨今のビジネスの拡大や売上の伸長によって、日々増加していく送受信データ量やEDIの接続先に対して、自社で構築したEDIシステムの拡張が追い付かなく

なっていること、システム障害が起きたときに対応できる人材の育成が難しく、BCP対策も不十分であることに課題を抱えていました。

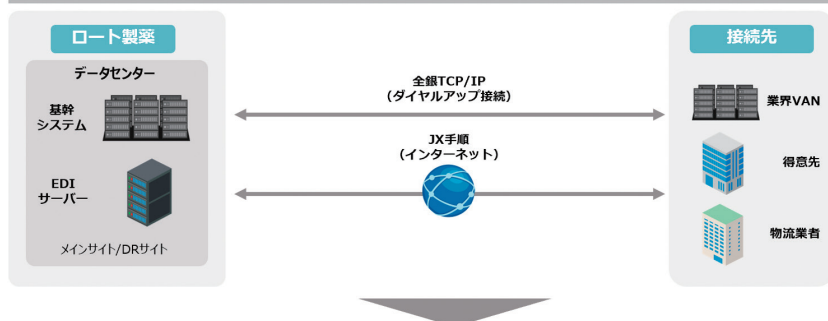
これらの課題を解決するため、EDIサービスにおける豊富な運用実績、コストパフォーマンス、障害発生時のコンサルティングなど、トータルとして充実した運用サポートを受けられる点、さらに、DR^{*2}サービスと2拠点運用サービスによる盤石な

BCP対策が可能である点が、ロート製薬に評価され、インテックの「EDIアウトソーシングサービス(EINS/EDI-Hub Nex)」が採用されました。

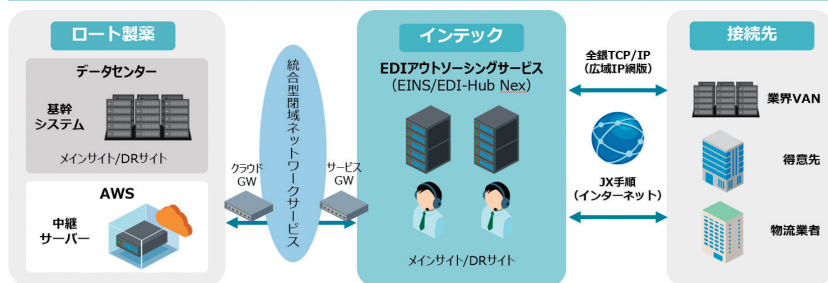
インテックは、これまで30年以上にわたる流通業界VAN^{*3}を運用してきた実績をもとに、ロート製薬のビジネスパートナーとして今後も安定的にEDIサービスを提供していきます。

「EDIアウトソーシングサービス(EINS/EDI-Hub Nex)」の導入イメージ

導入前



導入後



*本導入事例の詳細は、以下をご参照ください。
<https://www.intec.co.jp/case/detail/56.html>

*1 EDI2024年問題: 2024年1月予定のNTT東西によるINSネット(デジタル通信モード)サービス終了および電話網のIP化に伴い、既存のレガシーEDIが従来通り使用できなくなる。詳細はNTT東日本ホームページをご参照ください。
<https://web116.jp/2024ikou/>

*2 DR: DR(ディザスタリカバリ)とは、地震や津波などの災害によってシステムの継続利用が不可能になった際の復旧および修復、あるいはそのためのシステムなどのこと。

*3 業界VAN: 標準EDIとも呼ばれ、特定の業界に特化したネットワークサービスのこと。インターネットなどを用いて、メールサービス、通信速度、通信プロトコル、データフォーマットなど、異機種間接続を可能とする業界のネットワークのこと。

お問い合わせ先

株式会社インテック
情報流通基盤サービス事業本部 営業部
E-mail: edi_info@intec.co.jp

Social contributions

インテック、5年連続で「東京都スポーツ推進企業」に認定

インテックは昨年度に引き続き、東京都より「東京都スポーツ推進企業」の認定を受けました。2018年より毎年認定を受けており、今回の認定で5年連続の認定となります。創業の地である富山県のプロサッカーチーム「カタレ富山」、プロ野球独立リーグ「富山GRNサンダーバズ」、バレーボール「KUROBEアクアフェアリーズ」、バスケットボールチーム「富山グラウジーズ」への協賛支援、富山マラソンの協賛に加え、2019年よりトランポリン日本代表のオフィシャルスポンサーとしてサ

ポートするなど、スポーツ分野における社会貢献活動などが評価されました。

インテックは今後も引き続き、スポーツ分野における社会貢献と、社員が心身ともに健康でそれぞれの能力を最大限に発揮できる職場環境を形成する健康経営の推進に努めていきます。

*「東京都スポーツ推進企業」とは、従業員のスポーツ活動の促進に向けた優れた取り組みや、スポーツ分野における社会貢献活動を実施している企業などを、東京都が認定する制度です。
<https://www.sports-tokyo-info.metro.tokyo.lg.jp/company/>



お問い合わせ先

株式会社インテック
人事部 人事部 健康管理室
E-mail: healthcare_section@intec.co.jp

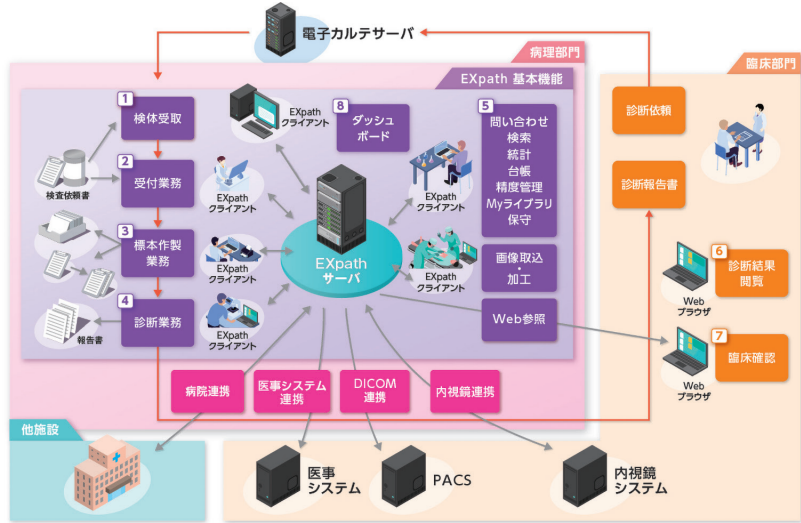
病理・細胞診検査業務支援システム「EXpath」の新バージョンを2023年4月から提供開始

「EXpath」は、インテックが1996年から全国の病院へ提供し、現在約120施設に導入されている病理・細胞診検査業務支援システムです。検査受付から報告書作成までの業務を支援する多彩な機能を搭載し、病理検査に必要な膨大な情報を一括管理します。電子カルテやオーダーリングシステムなどと連携することで病理データを病院全体で共有することができ、臨床部門での病理データの活用にも貢献しています。

「EXpath」Ver.5では、ダッシュボード機能や試薬管理機能を追加し、画像処理機能の高度化、他施設と医療情報を連携する機能を強化しました。

今後、加速度的に進むと予想されるデジタルパソロジー^{*}にも対応できる機能を追加し、病理診断の依頼情報や診断結果をデジタルデータで交換する仕様の標準化にも取り組み、病理医や検査技師の業務を強力にサポートしていきます。

「EXpath」Ver.5機能概要イメージ



お問い合わせ先

株式会社インテック
社会基盤事業本部 医療ソリューション営業部
E-mail: expath@intec.co.jp

^{*}デジタルパソロジー: 病理ガラス標本(プレパラート)を専用スキャナで撮影してデジタル化することで病理診断をサポートする技術。

富山県立大学「ケンダイラボ」にて最優秀賞を受賞 —— 魚津市スマートシティをテーマに実証実験を実施 ——

インテックは、富山県立大学の学生が企業と共に課題解決、新規事業の実装を行う産学共同プログラム「ケンダイラボ」に参加しました。インテックが参加したチームでは「住民の利便性向上のためのスマートシティ」を実現するために、人と街をつなぐIoTとして、魚津駅前前の飲食店6店舗に学生が作成したWi-Fiパケットセンサを設置し、人流の検知を行いました。併せて魚津市営駐車場をトレイルカメラ^{*1}にて撮影し、AI解析で台数を割り出すことで混雑度を計測しました。

実証実験テーマは、学生自身が実際に魚

津市のイベントに参加することで得られた気づきから、設定しました。日ごろ大学で学んでいる技術を社会実装できた点を評価され、参加4チームの中から最優秀賞をいただきました。

プログラム自体がタイトなスケジュールではありましたが、魚津市役所の方をはじめ、多くの方のご協力をいただき、実証実験を無事に終えることができました。本実験で得られた結果をもとに、魚津市のデータに基づくスマートシティをさらに推進させることができるよう、引き続き検討や提案を行っていきます。

^{*1} トレイルカメラ: 高速LTE通信に対応した乾電池式のIoTセンサーカメラ(自動撮影で定点観測が可能)。



店内の混雑度をグラフ化 (混雑: 黄色、空いている: 青色)



ミーティングの様子
子: 富山県立大学
DX教育センターにて



発表会当日の様子。写真下は 手前のプレートを持っている学生2名と両サイドがチームインテック

お問い合わせ先

株式会社インテック
行政システム事業本部 行政システム営業部
E-mail: Smart_loTPF@intec.co.jp

「第16回 ASPIC IoT・AI・クラウドアワード2022」で ID認証サービス(認人)、家電手帳(新名称: UCHITAS)がW受賞

インテックは、一般社団法人日本クラウド産業協会(ASPIC)主催の「第16回 ASPIC IoT・AI・クラウドアワード2022*」で、「ID認証サービス(以下、認人:にんと)」が「支援業務系ASP・SaaS部門」サービス連携賞、家電を活用したスマートホームアプリ「家電手帳」が「支援業務系ASP・SaaS部門」奨励賞を受賞しました。



*ASPIC IoT・AI・クラウドアワードの詳細は、以下をご参照ください。
<https://www.aspicjapan.org/event/award/16/>

今後も、「認人」における集約型のID管理から分散型ID(DID)への対応や、海外展開など幅広く活用いただけるようアップデートを行ってまいります。

また、「家電手帳」は、より多くのシーンで利用いただけるよう、宅外から家電操作を行える新機能を追加し、2023年1月に、「UCHITAS(ウチタス)」に名称変更しまし

た。「UCHITAS」は、「うち(家)をAI技術でアップデートし続け、家事にまつわるタスクを託していただける存在」でありたいという意味をこめた造語です。スマートホームアプリとして価値を向上させるとともに、AI/IoTを活用した生活環境高度化サービスへ発展させ、利用者の雑事から解放されたシンプルな暮らしを応援し続けます。



ID認証サービス(認人)関係者

お問い合わせ先

【認人関連】
株式会社インテック
ネットワーク&アウトソーシング事業本部
N&O営業部
E-mail: id_auth_sales@intec.co.jp



UCHITAS(家電手帳)関係者

お問い合わせ先

【UCHITAS(家電手帳)関連】
株式会社インテック
ビジネスイノベーション事業部
ビジネスイノベーション部
E-Mail: uchitas_support@intec.co.jp

Social contributions

トランポリン日本代表選手らを姿勢推定技術でサポート

インテックの先端技術研究所が、AIと画像解析を用いた姿勢推定技術によりトランポリンの演技解析システムを構築しました。本システムでトランポリン競技中の選手の演技を数値化することができるため、選手に具体的な指導が行えるようになります。現在、トランポリン日本代表選手の練習に取り入れられるよう、トレーニング場へ常時設置する準備を進めています。

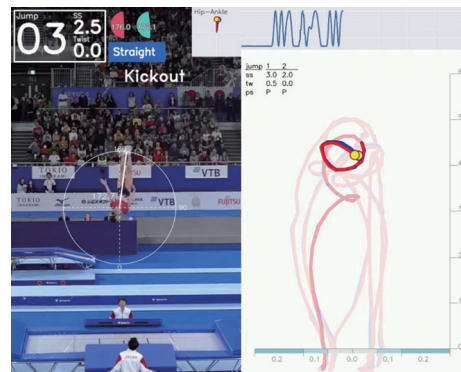
インテックは男女トランポリン日本代表のオフィシャルトップスポンサーとして選

手を応援するだけでなく、技術でトランポリン競技をサポートしてまいります。

姿勢推定技術のURL:
https://www.intec.co.jp/technology/technology/research/pose_estimation/

お問い合わせ先

株式会社インテック
テクノロジー&マーケティング本部
先端技術研究所
E-mail: ict_trampoline@intec.co.jp



Survey

お客さまとインテックをつなぐ広報誌「INTEC TODAY」アンケート回答のお願い

インテックは、広報誌「INTEC TODAY」を年2回発行しています。皆さまのご意見、ご感想を誌面づくりの参考にさせていただきますので、右記のアンケートフォームにアクセスの上、ご回答をお願いいたします。

お問い合わせ先

株式会社インテック
テクノロジー&マーケティング本部 広報室
E-mail: intec_pr@intec.co.jp

▶アンケートに答える



<https://www.intec.co.jp/company/intectoday/>